

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[金沢市立小坂小学校] 担当教諭名[宮森 庸子] (6年4組 31名)

交流相手国[イラン]

海外学校名[Saba Middle School] 担当教諭名[Minoo Shamsnia]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界の人と関わりながら生き方を考えよう	30
	英語	Unit4 Our Town	2

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	Friendship
絵に込めたメッセージ	言語や文化、宗教が違う日本とイランの子ども達がアートマイル学習を通じてお互いを理解し合い、友情を深め合ってほしいという願いをこめて、テーマを Friendship とした。Friendship の象徴として両国の子ども達が握手をしている所を絵で表現した。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達にとって馴染みのない国との交流だったので、とても興味関心をもって取り組んでいた。 ・イランの学校がフォーラムに頻繁に書き込みしてくれるので、イランの学校の様子や子ども達の様子がよく分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムのやりとりだけでなく、スカイプを通して実際にイランの子ども達と話せるとよかった。そのためには、事前の計画段階でスカイプの時間をとっておく必要があった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<p>子ども達は最初相手国がイランになったときに、イランという国がピンとこなかったように見られた。しかし、イランの先生や子ども達が密接に連絡してくるうちに、だんだんとイランに関心が向いていった。また、英語を話したり書いたりする時間が増え、英語を学ぶ意味を実感することができたように感じた。</p>	<p>自分自身、イランの子ども達がどのような学校生活を送っているのか想像がつかなかったので、交流を通して日本との違いや共通点を学ぶことができたのがよかった。また、英語の必要性を痛感した。学生時代が終わって英語の学習がおろそかになっていたが、これを機にまた勉強しようという気持ちになった。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	10月	・相手国の子ども達に自己紹介カードをつくる。 ・フォーラムに自己紹介カードを載せ、相手国と交流する。	・英文での自己紹介カード作りに苦戦していた児童もいたが、仕上がると満足そうだった。相手国からのカードを見せると何と書いてあるのか知りたいという気持ちでいっぱいだった。	総合7
テーマ学習	11月	・アートマイルの相手国について調べ学習をする。 ・自分の日本のお気に入りについて、絵や写真、文章で紹介する。	・本やインターネットを利用して、イランについて調べた。文化や習慣などが違うことを知って驚いていた。 ・自分のお気に入りを分かりやすく紹介しようと楽しそうにまとめていた。	総合10 英語2
構図決定	11月	・相手国とテーマを Friendship にすることを決め、このテーマに合う壁画をどんなものにするか、一人一人考えた。	・イランと日本でそれぞれテーマにしたいものを3つずつ出し合い、その中でお互いにやりたい課題が共通していた Friendship を選んだ。	総合3
壁画制作	12月	・アートマイル実行委員や有志で下書きをした壁画を塗る担当を班ごとに分け、色をつけていった。	・アートマイル実行委員の指示を受け、丁寧に塗っていた。完成したときに写真を撮ったが、どの子も喜んでいった。イランの子ども達の反応を楽しみにしているようだった。	総合8
鑑賞・振り返り	3月	・作品とともに記念撮影をした。 ・教室に飾り、卒業をお祝いした。	・完成した壁画を見てとてもうれしそうだった。また、一緒に送られてきた手紙等をもってとても喜んでいった。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことを ABC で記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	自分のお気に入り伝える時に、とても意欲的に調べたりまとめたりしていた。日本のよさに改めて気づくことができた。
異文化の理解	B	4	文化や習慣、宗教など日本と比較しながらイランについて調べ、違いを理解することができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	4	自己紹介カードやお気に入りの紹介の時に、分かるように伝えるために特にライティングの学習を意欲的にしていた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	調べ学習を中心にパソコンを使って情報を収集した。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	5	アートマイル実行委員を中心に児童が壁画作りを進めていくような手立てをとった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	班ごとに分かれて役割分担をしたり、全員色塗りをしたりするなどして、全員で協力して壁画を完成させるようにした。
学習を追究する意欲	A	4	自己紹介カード、お気に入り、壁画づくりとイランの児童とつながり合いながら壁画完成へと向かっていくようにした。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	3	Friendship の象徴である握手している手を中心となるような構図にし、目立つようにした。
作品を鑑賞する力	B	3	自分たちの思いをくみ取り、イランの子ども達が描いてくれたことを実感し、一つの作品が出来上がったことに感動していた。